

国土利用計画（甲州市計画）

説 明 資 料

平成 27 年 11 月

山梨県 甲州市

目 次

1. 市土の利用区分の定義及び把握方法	資-1
2. 人口の推移	資-3
3. 利用区分ごとの市土利用の推移(平成 18 年～平成 34 年)	資-4
4. 県計画と市計画における土地利用の規模の目標	資-5
5. 利用区分ごとの市土利用の規模の目標	資-6
6. 利用区分ごとの用地原単位とその算出根拠	資-7
(1) 農用地	資-7
(2) 森林	資-8
(3) 原野	資-9
(4) 水面・河川・水路	資-10
(5) 道路	資-11
(6) 宅地	資-12
(7) その他	資-14
7. 現況図	資-15
8. 構想図	資-16
9. 計画における地区区分	資-17
10. 文化財等	資-18
11. 甲州市国土利用計画策定審議会 名簿	資-25
12. 庁内調整委員会 名簿	資-25
13. 計画策定の経緯	資-26

1. 市土の利用区分の定義及び把握方法

利 用 区 分	定 義	把 握 方 法
1 農用地	農地法第2条第1項に定める農地及び採草放牧地の合計である。	
(1)農地	耕作の目的に供される土地であつて畦畔を含む。	農林水産省 作物統計調査で示されている田及び畑の合計である
(2)採草放牧地	農地以外の土地で、主として耕作又は養畜の事業のための採草又は家畜の放牧の目的に供されるもの。	「世界農林業センサス林業調査報告書」の「採草放牧に利用されている面積」のうち「森林以外の草生地（野草地）」である。 ⇒甲州市は対象外
2 森林	国有林と民有林の合計である。なお、林道面積は含まない。	「山梨県林業統計書」の県有林及び民有林の合計である。
(1)国有林	ア林野庁所管国有林 イ官行造林地 ウその他省庁所管国有林	⇒甲州市は対象外
(2)民有林	森林法第5条第1号で定められた地域森林計画の対象となる森林	「山梨県林業統計書」による
3 原野	甲州市・固定資産概要調書の原野の面積	甲州市・固定資産概要調書から把握する
4 水面・河川・水路	水面、河川及び水路の合計である。	
(1)水面	湖沼（人造湖及び天然湖沼）並びにため池の満水時の水面。	以下に掲げるア、イ及びウの面積の合計である。 ア 天然湖沼（面積10ha未満のものは除く。） 面積100ha以上のものは、国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」により、100ha未満のものは、環境省「自然環境保全基礎調査」の結果を基に図測等によって補完して把握する。 ⇒甲州市は対象外 イ 人造湖 日本ダム協会「ダム便覧」による。 ウ ため池 甲州市農林土木課が所有するため池の資料より算出。
(2)河川	河川法第4条に定める一級河川、同法第5条に定める二級河川及び同法第100条による準用河川の同法第6条に定める河川区域。	一級河川、二級河川及び準用河川の面積であり、国土利用現況図より測定。
(3)水路	農業用排水路	水路面積は以下の算式による。 国土利用計画（山梨県計画）では以下の算定式により水路面積を算出している。これにあてはめて算出する。 【水路面積】＝ （整備済水田面積×整備済水田の水路率0.081） ＋（未整備水田面積×未整備水田の水路率0.050）

利 用 区 分	定 義	把 握 方 法
5 道路	一般道路、農道及び林道の合計である。車道部（車道、中央帯、路肩）、歩道部、自転車道部及び法面等からなる。	
(1)一般道路	道路法第2条第1項に定める道路。	国道、県道及び市道の合計である。 ①国道、県道については、道路現況表（山梨県県土整備部道路管理課）の道路構成別面積内訳より把握。 ②市道については、市道等級別実延長（甲州市資料）に平均幅員を乗じて算出。
(2)農道	農道	⇒農道台帳（甲州市資料）で示されている延長に平均幅員を乗じて算出する。
(3)林道	国有林林道及び民有林林道	①県林道は峡東林務環境事務所管内概要より各林道の延長に幅員を乗じて算出。 ②林道台帳（甲州市資料）で示されている延長に平均幅員を乗じて算出する。
6 宅地	建物の敷地及び建物の維持又は効用を果たすために必要な土地である。	「固定資産概要調書」の宅地のうち評価総地積と非課税地積を合計したもの。
(1)住宅地	「固定資産概要調書」の評価総地積の住宅用地に、非課税地積のうち、県営住宅用地、市営住宅用地及び公務員住宅用地を加えたもの。	次の(A)及び(B)の合計である。 (A) 「固定資産概要調書」の総評価地積のうち住宅地用地の面積。（甲州市資料） (B) 県営住宅用地、市営住宅地及び公務員住宅用地の面積。（出典：甲州市長寿命化計画） ⇒公務員住宅用地はない
(2)工業用地	「工業統計表（用地・用水編）」にいう「事業所敷地面積」を従業員を10人以上の事業所敷地面積に補正したもの。	次の(A)及び(B)の合計である。 (A) 従業員30人以上の事業所については、工業統計表（用地・用水編）による敷地面積。 出典：工業統計調査（用地・用水編） (B) 従業員10人以上29人以下の事業所については、産業中分類別に次の算式により算出した面積の合計。 $\frac{(\text{従業員30人以上の事業所の敷地面積}) \times (\text{従業員10人以上29人以下の事業所の製造品出荷額等})}{(\text{従業員30人以上の事業所の製造品出荷額等})}$ 出典：工業統計調査
(3)その他の宅地	(1)及び(2)の区分のいずれにも該当しない宅地。	「宅地」から(1)住宅地及び(2)工業用地を除く。
7 その他	市土面積から「農用地」、「森林」、「原野」、「水面・河川・水路」、「道路」及び「宅地」の各面積を差し引いたものである。	
8 市街地	国勢調査による「人口集中地区」である。	

2. 人口の推移

甲州市		平成22年	平成29年	平成34年
1. 人口				
	総人口(人)	33,927	32,790	30,613
2. 老齢化				
	65歳以上人口(人)	9,962	10,951	11,049
3. 15歳未満				
	人口(人)	4,428	3,688	3,186
4. 世帯				
	普通世帯数(世帯数)	11,588	13,320	13,350
	1世帯当人口(人)	2.93	2.46	2.29
5. 就業人口(人)		17,515	16,083	14,522
内 訳	第1次産業	4,155	3,692	3,302
	第2次産業	3,544	2,788	1,741
	第3次産業	9,816	9,603	9,479

3. 利用区分ごとの市土利用の推移(平成 18 年～平成 34 年)

区分	平成18年 (ha)	平成22年 (ha)	平成29年 (ha)	平成34年 (ha)	構成比(%)		
					平成22年	平成29年	平成34年
農 用 地	2,120	2,100	2,088	2,080	8.0	7.9	7.9
農 地	2,120	2,100	2,088	2,080	8.0	7.9	7.9
採草放牧地	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0
森 林	21,141	21,148	21,150	21,147	80.1	80.1	80.1
原 野	247	246	245	244	0.9	0.9	0.9
水面・河川・水路	325	325	325	325	1.2	1.2	1.2
道 路	501	508	521	525	1.9	2.0	2.0
宅 地	767	774	782	790	2.9	3.0	3.0
住 宅 地	576	583	586	589	2.2	2.2	2.2
工 業 用 地	24	20	22	24	0.1	0.1	0.1
その他の宅地	167	171	174	177	0.6	0.7	0.7
そ の 他	1,300	1,300	1,300	1,300	4.9	4.9	4.9
計	26,401	26,401	26,411	26,411	100.0	100.0	100.0

4. 県計画と市計画における土地利用の規模の目標

(単位: ha、%)

区分	県					国中地域(県計画の地域)					甲州市				
	平成17年		平成29年		平成29年 ／ 平成17年 (%)	平成17年		平成29年		平成29年 ／ 平成17年 (%)	平成22年		平成34年		平成34年 ／ 平成22年 (%)
	面積 (ha)	構成比 (%)	面積 (ha)	構成比 (%)		面積 (ha)	構成比 (%)	面積 (ha)	構成比 (%)		面積 (ha)	構成比 (%)			
1. 農用地	25,911	5.8	24,800	5.6	△ 4.3	23,108	7.3	22,170	7.0	△ 4.1	2,100	8.0	2,080	7.9	△ 1.0
(1)農地	25,900	5.8	24,790	5.6	△ 4.3	23,097	7.3	22,160	7.0	△ 4.1	2,100	8.0	2,080	7.9	△ 1.0
(2)採草放牧地	11	0.0	10	0.0	△ 9.1	11	0.0	10	0.0	△ 9.1	0	0.0	0	0.0	-
2. 森林	345,881	77.5	345,200	77.3	△ 0.2	238,637	75.7	238,170	75.5	△ 0.2	21,148	80.1	21,147	80.1	△ 0.0
3. 原野	1,971	0.4	1,970	0.4	△ 0.1	2	0.0	0	0.0	△ 100.0	246	0.9	244	0.9	△ 0.8
4. 水面・河川・水路	9,256	2.1	9,200	2.1	△ 0.6	6,236	2.0	6,230	2.0	△ 0.1	325	1.2	325	1.2	0.0
5. 道路	10,889	2.4	11,720	2.6	7.6	8,277	2.6	8,930	2.8	7.9	508	1.9	525	2.0	3.3
6. 宅地	17,605	3.9	18,490	4.1	5.0	13,695	4.3	14,390	4.6	5.1	774	2.9	790	3.0	2.1
(1)住宅地	10,809	2.4	11,390	2.6	5.4	8,711	2.8	9,180	2.9	5.4	583	2.2	589	2.2	1.0
(2)工業用地	1,177	0.3	1,250	0.3	6.2	976	0.3	1,010	0.3	3.5	20	0.1	24	0.1	20.0
(3)その他	5,619	1.3	5,850	1.3	4.1	4,008	1.3	4,200	1.3	4.8	171	0.6	177	0.7	3.5
7. その他	35,024	7.8	35,160	7.9	0.4	25,461	8.1	25,530	8.1	0.3	1,300	4.9	1,300	4.9	0.0
合計	446,537	100.0	446,540	100.0	0.0	315,416	100.0	315,420	100.0	0.0	26,401	100.0	26,411	100.0	0.0

5. 利用区分ごとの市土利用の規模の目標

(単位:ha、%)

区 分	平成22年 (A) (ha)	平成29年 (B) (ha)	平成34年 (C) (ha)	中間目標(%)		最終目標(%)
				$((B)/(A)-1) \times 100$	$((C)/(A)-1) \times 100$	
農 地	2,100	2,088	2,080	△ 0.6	△ 1.0	△ 1.0
	2,100	2,088	2,080	△ 0.6	△ 1.0	△ 1.0
	0	0	0	—	—	—
森 林	21,148	21,150	21,147	0.0	△ 0.0	△ 0.0
原 野	246	245	244	△ 0.4	△ 0.8	△ 0.8
水 面 ・ 河 川 ・ 水 路	325	325	325	—	—	—
道 路	508	521	525	2.6	3.3	3.3
宅 地	774	782	790	1.0	2.1	2.1
住 宅 地	583	586	589	0.5	1.0	1.0
工 業 用 地	20	22	24	10.0	20.0	20.0
そ の 他	171	174	177	1.8	3.5	3.5
そ の 他	1,300	1,300	1,300	0.0	0.0	0.0
合 計	26,401	26,411	26,411	—	—	—
市 街 地	1,500	1,500	1,500	—	—	—

6. 利用区分ごとの用地原単位とその算出根拠

(1) 農用地

年次	農用地面積			人口 (人)	人口 1人 当たり 面積 (a/人)	農業 就業 人口 (人)	農業就業 人口 1人当たり 面積 (a/人)	市面積 (ha)	構成比 (%)	基準年 に対する 割合 (%)
	農地 (ha)	採草 放牧地 (ha)	計 (ha)							
平成18年	2,120	0	2,120	36,885	5.7	5,328	40	26,401	8.0	101.0
平成19年	2,120	0	2,120	36,492	5.8		40	26,401	8.0	101.0
平成20年	2,110	0	2,110	36,178	5.8		40	26,401	8.0	100.5
平成21年	2,110	0	2,110	35,817	5.9		40	26,401	8.0	100.5
基準年次 (平成22年)	2,100	0	2,100	33,927	6.2	4,489	47	26,401	8.0	100.0
中間年次 (平成29年)	2,088	0	2,088	32,790	6.4	3,971	53	26,411	7.9	99.4
目標年次 (平成34年)	2,080	0	2,080	30,613	6.8	3,565	58	26,411	7.9	99.0

【算出根拠】

①田

- ・平成18年から減少傾向にあり、大規模な開発によるものではなく、宅地化等の転用や耕作放棄地等によるものと考えられます。田の分布をみますと、市北西部塩山小田原に広く分布しており、用途地域内では少ない状況です。
- ・用途地域内の田については、宅地化等の都市的な活用を進めます。(1ha程度)

②畑

- ・平成18年から減少傾向にあります。農地減少の要因は、宅地化等の転用や耕作放棄地等によるものと考えられます。今後は、用途地域内の未利用地の活用や、市街地南側の開発を考慮して、無秩序な農地の減少を抑制していくものとします。また、農業就業人口一人当たりの面積は増加傾向にあり、今後は農業の効率化を進めるためにも、適切な基盤整備が必要となります。
- ・従って、畑地の面積は、農道・道路整備や宅地開発等に伴う減少分を差し引くことで、将来の面積を推計します。
- ・農業就業人口については、農業就業人口一人あたりの面積の推移を基に推計し、将来農地面積から除して算出します。

③採草放牧地

- ・採草放牧地の値(0ha)は今後も変わらないと予測されます。

(2) 森林

年次	森林面積 (ha)	人口 (人)	人口 1人当たり 面積 (a/人)	市面積 (ha)	構成比 (%)	基準年 に対する 割合 (%)
平成18年	21,141	36,885	57.3	26,401	80.1	100.0
平成19年	21,141	36,492	57.9	26,401	80.1	100.0
平成20年	21,141	36,178	58.4	26,401	80.1	100.0
平成21年	21,139	35,817	59.0	26,401	80.1	100.0
基準年次 (平成22年)	21,148	33,927	62.3	26,401	80.1	100.0
中間年次 (平成29年)	21,150	32,790	64.5	26,411	80.1	100.0
目標年次 (平成34年)	21,147	30,613	69.1	26,411	80.1	100.0

【算出根拠】

- ・森林面積については、平成18年からの5年間は横ばいで推移しており、平成22年には微増しています。伐採等による変動は少ないと考えられますが、林道等の整備により減少が予測されます。
- ・現在、林業者の就業は減少していますが、企業の森等の取り組みや近年のレジャー動向により、自然の中のゆったりとした雰囲気であらぎを求める過ごし方が増えていくと考えられます。これらのレジャーについては、大規模に開発するものではないため現状維持となります。
- ・北側の市有地は、ゴルフ用地や射撃場等の活用計画があったものの、現在は企業の森として維持管理を含めた保全がなされています。
- ・従って、森林面積については、大幅な増減はないと考えられることから、現状を基本として推移するものとします。

(3) 原野

年次	原野面積 (ha)	人口 (人)	人口 1人当たり 面積 (a/人)	市面積 (ha)	構成比 (%)	基準年 に対する 割合 (%)
平成18年	247	36,885	0.7	26,401	0.9	100.4
平成19年	247	36,492	0.7	26,401	0.9	100.4
平成20年	247	36,178	0.7	26,401	0.9	100.4
平成21年	246	35,817	0.7	26,401	0.9	100.0
基準年次 (平成22年)	246	33,927	0.7	26,401	0.9	100.0
中間年次 (平成29年)	245	32,790	0.7	26,411	0.9	99.6
目標年次 (平成34年)	244	30,613	0.8	26,411	0.9	99.2

【算出根拠】

- ・原野は平成18年からやや減少傾向にあります。
- ・原野は今後発生しないと想定し、今後も同程度の減少が続くとして推計します。

(4) 水面・河川・水路

年次	水面・河川・水路面積				人口 (人)	人口1人 当たり面積 (a/人)	市面積 (ha)	構成比 (%)	基準年 に対する 割合 (%)
	水面 (ha)	河川 (ha)	水路 (ha)	計 (ha)					
平成18年	51	273	1	325	36,885	0.9	26,401	1.2	100.0
平成19年	51	273	1	325	36,492	0.9	26,401	1.2	100.0
平成20年	51	273	1	325	36,178	0.9	26,401	1.2	100.0
平成21年	51	273	1	325	35,817	0.9	26,401	1.2	100.0
基準年次 (平成22年)	51	273	1	325	33,927	1.0	26,401	1.2	100.0
中間年次 (平成29年)	51	273	1	325	32,790	1.0	26,411	1.2	100.0
目標年次 (平成34年)	51	273	1	325	30,613	1.1	26,411	1.2	100.0

【算出根拠】

①水面

- ・水面としては、上日川ダム・藤井ため池・小佐手ため池があり、大きな変動は見られません。
- ・水面の改廃の予定はないと想定し、現状を基本として推移するものとします。

②河川

- ・河川においては大規模な改修はないと考えられることから、改修による面積変化は軽微とし、現状を基本として推移するものとします。

③水路

- ・水路の面積については、田の圃場整理はほぼ終了しています。水田の減少に伴い自然減も見込まれますが、農業基盤整備等により相殺されるものとして現状を基本として推移するものとします。

(5) 道路

年次	道路面積				人口 (人)	人口1人 当たり面積 (a/人)	市面積 (ha)	構成比 (%)	基準年 に対する 割合 (%)
	一般道 (ha)	林道 (ha)	農道 (ha)	計 (ha)					
平成18年	337	51	113	501	36,885	1.4	26,401	1.9	98.6
平成19年	337	51	113	501	36,492	1.4	26,401	1.9	98.6
平成20年	337	51	113	501	36,178	1.4	26,401	1.9	98.6
平成21年	342	51	114	507	35,817	1.4	26,401	1.9	99.8
基準年次 (平成22年)	343	51	114	508	33,927	1.5	26,401	1.9	100.0
中間年次 (平成29年)	349	57	115	521	32,790	1.6	26,411	2.0	102.6
目標年次 (平成34年)	350	60	115	525	30,613	1.7	26,411	2.0	103.3

【算出根拠】

①一般道路

- ・甲州市中長期道路網計画により整備が位置づけられている路線を整備するものとして推計します。

②農道

- ・今後も整備・改良が継続的に行われると想定し、過去の推移から推計します。

③林道

- ・甲州市森林整備計画により整備が位置づけられている林道を整備するものとして推計します。

(6) 宅地

年次	宅地面積				人口 (人)	人口1人 当たり面積 (a/人)	市面積 (ha)	構成比 (%)	基準年 に対する 割合 (%)
	住宅地 (ha)	工業 用地 (ha)	その他の 宅地 (ha)	計 (ha)					
平成18年	576	24	167	767	36,885	2.1	26,401	2.9	99.1
平成19年	577	24	166	767	36,492	2.1	26,401	2.9	99.1
平成20年	580	25	165	770	36,178	2.1	26,401	2.9	99.5
平成21年	583	21	170	774	35,817	2.2	26,401	2.9	100.0
基準年次 (平成22年)	583	20	171	774	33,927	2.3	26,401	2.9	100.0
中間年次 (平成29年)	586	22	174	782	32,790	2.4	26,411	3.0	101.0
目標年次 (平成34年)	589	24	177	790	30,613	2.6	26,411	3.0	102.1

【算出根拠】

①住宅地

- ・本市の宅地面積は、人口が減少している中で、世帯数や1世帯当たりの住宅面積は微増傾向を示していましたが、近年はやや減少傾向です。
- ・平成18年から22年までの実績値を用いて回帰分析すると、将来の一世帯あたりの住宅地面積は、平成29年は440.5㎡、平成34年は447.4㎡と推計されます。(空き家は考慮しない)
- ・将来に増加する世帯数に、一世帯当たりの住宅地面積の推計面積を掛けて、住宅地面積を算出します。

【将来の住宅地面積】

		平成22年	平成29年	平成34年	備考・単位
世帯数	a	11,588	13,320	13,350	世帯
普通世帯数	b	11,575	13,305	13,335	世帯
一世帯当たりの住宅地面積	c	440.1	440.5	447.4	㎡
現状宅地面積	d	583			ha
想定宅地面積(増加世帯のみ推計宅地面積で算出)※1	e ※		586	588	ha

※ 平成29年の場合 $586\text{ha} = (13,305 - 11,575) * 440.5 + (11,575 * 440.1)$

※ 平成34年の場合 $588\text{ha} = (13,335 - 13,305) * 447.4 + 586\text{ha}$

②工業用地

- 本市の工業用地面積は、従業員数や製造品等出荷額の落ち込みを受け、減少傾向となっています。上位計画においては、企業誘致を推進し雇用確保を目指すとしています。そこで、製造品出荷額の推移に考慮して必要となる用地面積を算出して求めます。

【製造品出荷額と工業用地】

		製造品出荷額(万円)			面積(ha)	1ha当たり製造品出荷額 (万円/ha)
		従業員10人～29人の事業所	従業員30人以上の事業所	10人以上の事務所		
		a	b	c=a+b		e=c/d
H18	2006	1,171,193	2,874,882	4,046,075	24.2	167,080
H19	2007	829,849	3,092,418	3,922,267	24.2	161,889
H20	2008	1,009,024	3,144,734	4,153,758	24.7	168,308
H21	2009	755,413	2,023,685	2,779,098	21.1	131,893
H22	2010	947,531	2,071,748	3,019,279	20.3	149,053

↑
1年間で約240千万円の増加

【考え方】

H21～H22の1年間で製造品出荷額は約240千万円の増加。このペースでの増加を目指した場合、10年間では、2,400千万円増となる。

単純に比例増加は難しいことから、4分の1の増加を見込むこととする。

平成32年の製造品出荷額＝3,019千万円＋(2,400÷4千万円)＝3,619万円

これに、平成22年の密度(ha当たりの製造品出荷額)で割り戻す(赤網掛け)

平成32年工場面積＝3,619千万円/149千万円＝24.2ha≒24ha

③その他宅地予測

- その他の宅地は、事務所や店舗などの宅地が挙げられます。
- 今後は中心市街地の空き店舗の活用等を促すとともに、市道下塩後 22 号線における活用を見込んで算出します。

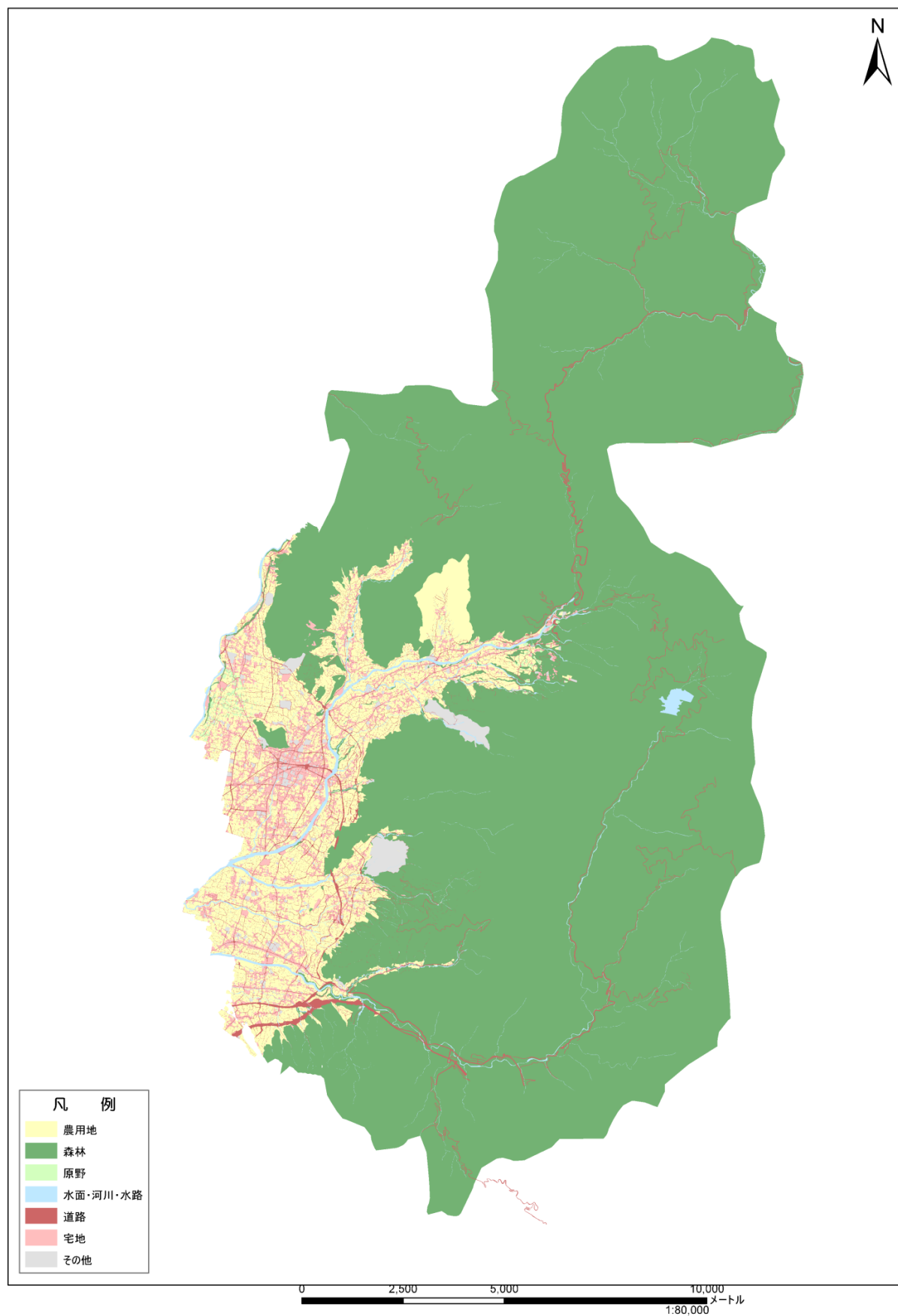
(7) その他

年次	その他の面積 (ha)	人口 (人)	人口 1人当たり 面積 (a/人)	市面積 (ha)	構成比 (%)	基準年に 対する 割合 (%)
平成18年	1,300	36,885	3.5	26,401	4.9	100.0
平成19年	1,300	36,492	3.6	26,401	4.9	100.0
平成20年	1,307	36,178	3.6	26,401	5.0	100.5
平成21年	1,300	35,817	3.6	26,401	4.9	100.0
基準年次 (平成22年)	1,300	33,927	3.8	26,401	4.9	100.0
中間年次 (平成29年)	1,300	32,790	4.0	26,411	4.9	100.0
目標年次 (平成34年)	1,300	30,613	4.2	26,411	4.9	100.0

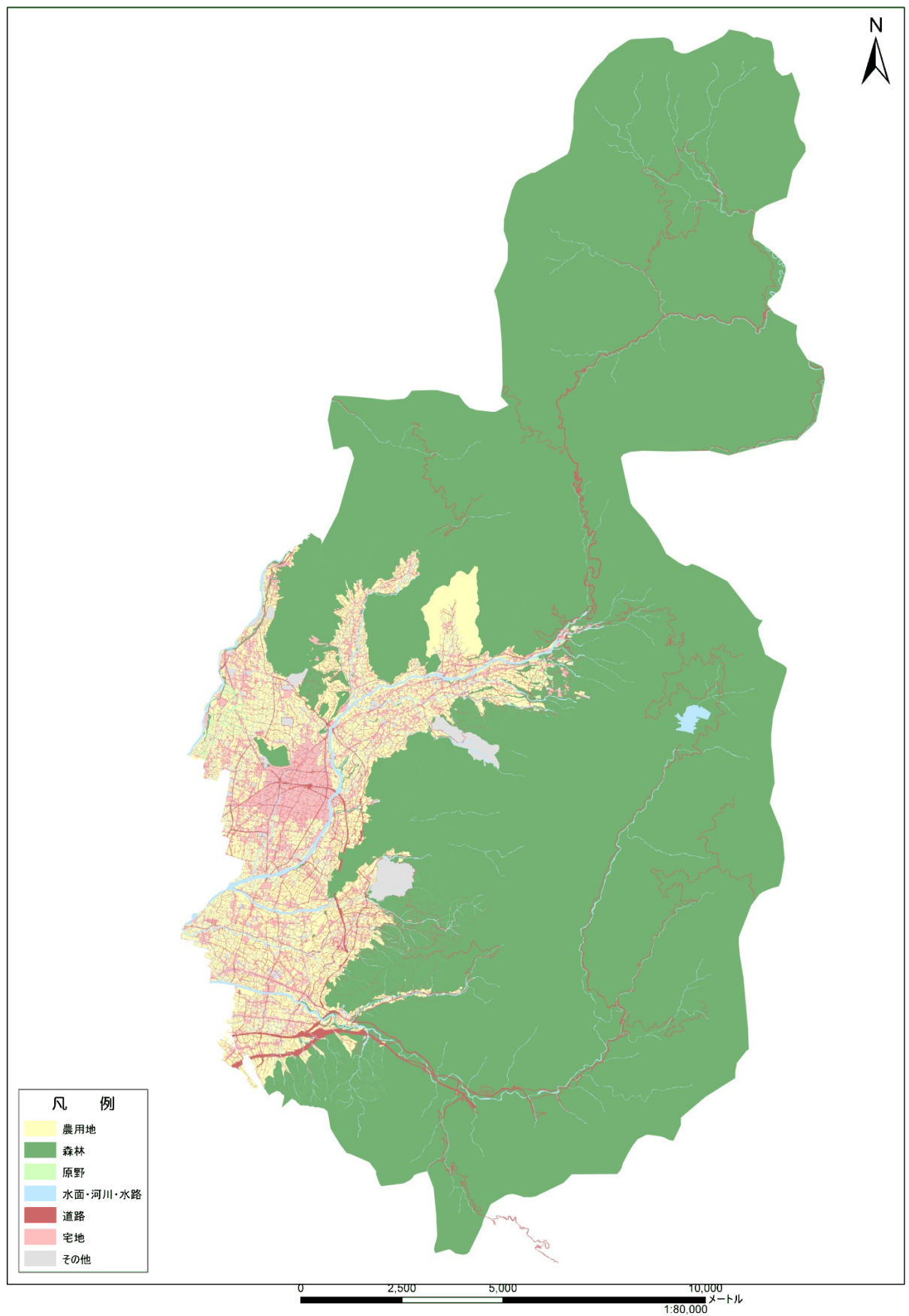
【算出根拠】

- ・行政面積の全体から各地目の土地利用を減じて算出します。

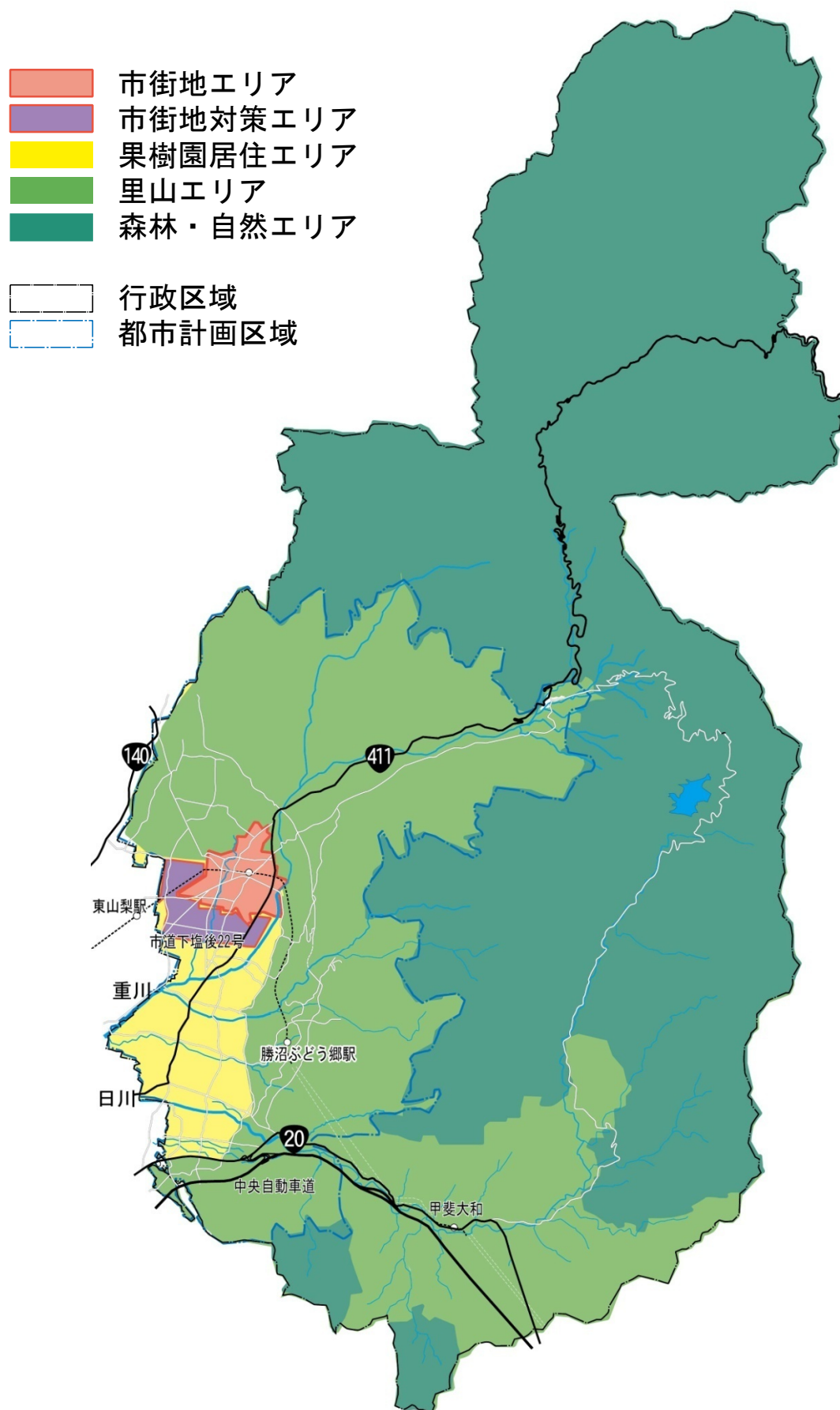
7. 現況図



8. 構想図



9. 計画における地区区分



10. 文化財等

甲州市では、3つの国宝をはじめ、重要文化財を有する寺院や武田氏ゆかりの史跡、甲州街道や青梅街道などの歴史的な街道、ワイン醸造発祥にまつわる近代化産業遺産など、数多くの歴史文化資源を有している。

【国宝】

種別	時代	名称	所有者	指定年月日
建造物	鎌倉	大善寺本堂 附 厨子	大善寺	S 30.6.22
絵画	鎌倉	絹本著色達磨図	向嶽寺	S 28.11.14
工芸品	藤原	小桜韋威鎧 兜、大袖付	菅田天神社	S 27.11.22

【重要文化財】

種別	時代	名称	所有者	指定年月日
建造物	桃山	恵林寺四脚門	恵林寺	M 40.8.28
建造物	室町	雲峰寺本堂	雲峰寺	S 24.2.18
建造物	江戸	雲峰寺書院	雲峰寺	S 24.2.18
建造物	室町	雲峰寺庫裏	雲峰寺	S 24.2.18
建造物	室町	雲峰寺仁王門	雲峰寺	S 24.2.18
建造物	室町	熊野神社拝殿	熊野神社	S 24.2.18
建造物	鎌倉	熊野神社本殿 附 棟札四枚	熊野神社	S 24.2.18
建造物	江戸	旧高野家住宅 主屋、巽蔵、馬屋、東門、文庫蔵、小屋、宅地附 地実棚、裏門、座敷門	甲州市	S 28.3.31 追加指定 H 8.7.9
建造物	室町	向嶽寺中門	向嶽寺	S 46.6.22
絵画	室町	絹本著色三光国師像図	向嶽寺	T 5.5.24
絵画	室町	絹本著色大円禅師像図	向嶽寺	T 5.5.24
彫刻	平安	木造大日如来坐像	放光寺	M 39.9.6
彫刻	平安	木造不動明王立像	放光寺	M 39.9.6
彫刻	平安	木造愛染明王坐像	放光寺	M 39.9.6
彫刻	鎌倉	木造金剛力士立像	放光寺	H 8.6.27
彫刻	平安	木造薬師如来及両脇侍像	大善寺	M 38.4.4
彫刻	鎌倉	木造十二神将立像	大善寺	H 11.6.7
彫刻	鎌倉	木造日光月光菩薩立像(所在本堂) 附 日光菩薩像内納入品 一、薬師如来印仏(25通)一綴 正応五年の記がある 一、薬師如来印仏 六卷 一、十一面観音印仏 五卷 一、墨書紙片・紙礫等 一括	大善寺	H 19.6.8 追加指定 H 25.6.29
彫刻	南北朝	木造普応国師坐像	栖雲寺	S 46.6.22
工芸品	室町	太刀 銘来国長	恵林寺	T 4.3.26
工芸品	室町	短刀 銘備州長船倫光	恵林寺	T 4.3.26
歴史資料	南北朝	塩山和泥合水集板木 至徳三年二月十五日刊 記 拔隊得勝遺誠板木	向嶽寺	H 5.6.10
史跡		甲斐金山遺跡・黒川金山	東京都 ・甲州市	H 9.9.2
史跡		勝沼氏館跡	甲州市	S 56.5.28
名勝	室町	恵林寺庭園	恵林寺	S 19.6.26
名勝	江戸	向嶽寺庭園	向嶽寺	H 6.6.6
重伝建地区		甲州市塩山下小田原上条 伝統的建造物群保存地区		H27.5.15 答申

【山梨県指定文化財】

種別	時代	名称	所有者	指定年月日
建造物	室町	向嶽寺築地塀	向嶽寺	S 36.12.7
建造物	江戸	金井加里神社本殿	金井加里神社	S 39.6.25
建造物	室町	千野六地藏幢	個人	S 46.4.8
建造物	室町	山王権現社本殿	山王権現社	S 52.5.23
建造物	室町	神部神社本殿 附 金銅十一面観音菩薩坐像一軀 棟札三枚	神部神社	S 58.3.10
建造物	桃山	恵林寺三門 附 棟札一枚	恵林寺	S 60.3.19
建造物	室町	神部神社隨身門 附 棟札三枚	神部神社	H 8.2.19
建造物	明治	旧宮崎葡萄酒醸造所施設 附 裏板一枚、宅地	メルシヤン株式会社	H 9.6.12
建造物	江戸	大善寺山門	大善寺	H 14.3.4
建造物	南北朝	栖雲寺宝篋印塔	栖雲寺	S 33.6.19
建造物	南北朝	栖雲寺開山宝篋印塔	栖雲寺	S 47.1.27
建造物	江戸	諏訪神社本殿 附 棟札	諏訪神社	S 53.3.30
建造物	江戸	景德院山門 附 扁額、棟札、十六羅漢像	景德院	H 7.6.22
建造物	桃山	栖雲寺庫裏 附 諸普請作萬覚記録一冊	栖雲寺	H 7.6.22
絵画	室町	紙本著色渡唐天神像図	恵林寺	S 40.8.19
絵画	室町	紙本墨画梅図 しほんぼくがばいず	向嶽寺	S 40.8.19
絵画	室町	絹本著色大円禪師画像	松泉寺	S 51.2.23
絵画	室町	紙本著色刀八毘沙門天像図	熊野神社	H 5.2.15
絵画	室町	紙本著色飯縄権現像図	熊野神社	H 5.2.15
絵画	室町	紙本著色欵器ノ図	熊野神社	H 5.2.15
絵画	室町	絹本著色仏涅槃図	向嶽寺	H 5.9.6
絵画	室町	紙本著色渡唐天神像図	熊野神社	H 12.3.2
絵画	元(中国)	絹本著色十字架捧持マニ像	栖雲寺	H 25.7.11
絵画	平安江戸	絹本著色不動明王像 附 紙本著色不動明王像 横田汝圭筆	大善寺	H 25.7.11
彫刻	鎌倉	木造夢窓国師坐像	恵林寺	S 35.11.7
彫刻	室町	不動明王並びに二童子図版木	恵林寺	S 58.12.26
彫刻	室町	木造不動明王及二童子像	恵林寺	H 27.2.5
彫刻	鎌倉	木造役行者倚像	大善寺	H 9.6.12
彫刻	南北朝	木造業海本浄和尚坐像	栖雲寺	S 35.11.7
彫刻	南北朝	地藏菩薩磨崖仏	栖雲寺	S 43.12.12
彫刻	南北朝	木造釈迦如来坐像 もくどうしゃかによらいごどう	栖雲寺	S 46.4.8
彫刻	南北朝	文殊菩薩磨崖仏 もんじゅぼさつまがいぶつ	栖雲寺	S 52.3.31
工芸品	鎌倉	放光寺銅鐘	放光寺	S 34.2.9
工芸品	室町	向嶽寺銅鐘	向嶽寺	S 54.2.8
工芸品	鎌倉	大善寺鰐口	大善寺	S 39.11.19
工芸品	室町	立正寺箱笈	立正寺	H 2.12.20
工芸品	室町	大善寺金銅金具装山伏板笈	大善寺	H 2.12.20
工芸品	南北朝	栖雲寺銅鐘	栖雲寺	S 34.2.9
工芸品	南北朝	白紗地九条袈裟	栖雲寺	H 5.9.6
書跡	室町	恵林寺文書	恵林寺	S 33.6.19
書跡	南北朝	紙本墨書大般若經	放光寺	S 35.11.7
書跡	南北朝	和漢朗詠集	恵林寺	S 38.9.9
書跡	南北朝	向嶽寺文書	向嶽寺	S 48.7.12
書跡	南北朝	塩山向嶽禅庵小年代記	向嶽寺	S 48.7.12
書跡	南北朝	拔隊得勝墨書	向嶽寺	S 48.7.12

種別	時代	名称	所有者	指定年月日
書跡	南北朝	紙本墨書元亨釈書 附 版本元亨釈書	松泉寺	S 52.3.31
書跡	室町	金剛般若波羅密經版本	向嶽寺	S 52.5.23
書跡	室町	随求陀羅尼儀軌版本	向嶽寺	S 52.5.23
書跡	江戸	塩山仮名法語版本	向嶽寺	S 52.5.23
書跡	南北朝	拔隊得勝墨書	正覚寺	H 6.6.23
書跡	南北朝	孤峯覚明墨書	向嶽寺	H 6.6.23
書跡	南北朝	峻翁令山墨書	向嶽寺	H 6.6.23
書跡	南北朝	紙本墨書大般若經 附 経箱(大)三箱 経箱(小)三〇箱	個人	H 6. 6.23
書跡	江～明	甲州甘草文書	甲州市	H 11.9.9
書跡	平～江	大善寺古文書	大善寺	S 44.11.20
考古資料		黒川金山遺跡出土品	甲州市	H 16.5.6
考古資料	鎌倉	大善寺中世墓出土陶器	大善寺	H 19.4.26
考古資料	南北朝	栖雲寺開山墓出土常滑甕	栖雲寺	H 19.4.26
歴史資料	室町	日の丸の御旗	雲峰寺	S 55.9.18
歴史資料	室町	孫子の旗	雲峰寺	S 55.9.18
歴史資料	室町	諏訪神号旗	雲峰寺	S 55.9.18
歴史資料	室町	馬標旗	雲峰寺	S 55.9.18
歴史資料	室町	孫子の旗	恵林寺	S 55.9.18
歴史資料	室町	諏訪神号旗	恵林寺	S 55.9.18
歴史資料	江戸	柳澤吉保・定子関係資料	恵林寺	H 19.4.26
無形民俗		一之瀬高橋の春駒	一之瀬高橋の 春駒保存会	S 42.8.7
無形民俗		柏尾の藤切祭	大善寺藤切り 祭保存会	H 26.2.17
無形民俗		田野十二神楽	田野保存会	H 5.2.15
史跡	江戸	武田晴信の墓	恵林寺	S 33.6.19
史跡	鎌倉	於曽屋敷	個人、甲州市	S 38.9.9
史跡		武田勝頼の墓	景德院	S 33.6.19
史跡		景德院境内	景德院	S 42.5.29
名勝		大善寺庭園	大善寺	S 54.3.31
名勝		三光寺庭園	三光寺	S 54.3.31
名勝		栖雲寺庭園	栖雲寺	S 54.3.31
天然記念物		雲峰寺のサクラ	雲峰寺	S 34.2.9
天然記念物		上於曽のアカガシ	個人	S 34.2.9
天然記念物		下竹森のネズ	個人	S 36. 12. 7
天然記念物		菅田天神社のカシ群	菅田天神社	S 38.9.9
天然記念物		船宮神社の大ヒノキ	船宮神社	H 6.11.7
天然記念物		慈雲寺のイトザクラ	慈雲寺	H 17.12.26
天然記念物		万福寺のムクノキ	万福寺	S 39.6.25

【甲州市指定文化財】

種別	年代	名称	所有者	指定年月日
建造物	室町	上平六地藏幢	上平組	S 46.4.1
建造物	室町	坂尻六地藏幢	上竹森西組・宮組	S 48.5.25
建造物	室町	菅田天神社石灯籠	菅田天神社	H 7.5.30
建造物	桃山	雲峰寺中門	雲峰寺	H 8.2.8
建造物	江戸	恵林寺開山堂 附 棟札一枚	恵林寺	H 8.2.8
建造物	江戸	向嶽寺仏殿	向嶽寺	H 8.2.8
建造物	江戸	金井加里神社随身門	金井加里神社	H 8.2.8
建造物	江戸	放光寺本堂	放光寺	H 8.2.8
建造物	江戸	放光寺庫裏	放光寺	H 8.2.8
建造物	江戸	松泉寺庫裏	松泉寺	H 8.5.8
建造物	江戸	鶏冠神社神輿	鶏冠神社	H 14.10.2
建造物	江戸	三光寺太子堂	三光寺	S 51.3.31
建造物	江戸	立正寺本堂 附 棟札	立正寺	S 52.3.31
建造物	江戸	通神社本殿 附 棟札	通神社	S 61.4.1
建造物	江戸	雀宮神社本殿 附 棟札	雀宮神社	S 61.4.1
建造物	鎌倉	立正寺下馬碑	立正寺	S 61.4.1
建造物	室町	地藏窪六地藏塔	東漸院	S 61.4.1
建造物	江戸	綿塚飯縄神社本殿	飯縄神社	H 6.3.8
建造物	江戸末 ～ 昭和 初期	旧宮崎葡萄酒醸造所施設(宮光園) 主屋、文庫蔵、道具蔵、表門、西門、白蔵、 葡萄貯蔵庫、第一醸造場葡萄酒貯蔵庫 宅地・畑(第一醸造場の区域と煉瓦積煙 突、井戸、洗い場、敷地内石積水路などの 施設、及び庭園、塀、葡萄畑を含む) 附 家相図	甲州市	H20.10.28
建造物	江戸	三嶋神社本殿	三嶋神社	S 50.10.14
建造物	江戸	観音堂	横吹組	S 61.6.5
建造物	江戸	山王神社本殿	栖雲寺	H 5.7.14
建造物	江戸	栖雲寺本堂	栖雲寺	H 9.12.25
建造物	江戸	諏訪神社随身門	諏訪神社	H 17.8.1
建造物		日影諏訪神社本殿	日影諏訪神社	H 17.8.1
絵画	室町	紙本墨画蘆葉達磨像図	恵林寺	S 51.2.25
絵画	江戸	絹本著色隻履達磨像図	恵林寺	S 51.2.25
絵画	江戸	絹本著色隻履達磨像図	恵林寺	S 51.2.25
絵画	室町	紙本著色不動明王図	恵林寺	S 51.2.25
絵画	室町	絹本著色観音像図	恵林寺	S 51.2.25
絵画		絹本著色蓮二鴛鴦ノ画 蓮二白鷺ノ画	向嶽寺	S 51.2.25
絵画	室町	絹本著色十六羅漢図	向嶽寺	S 51.2.25
絵画	室町	紙本著色阿弥陀三尊来迎図	矢崎 都	S 51.2.25
絵画	南北朝	絹本著色夢窓国師像図 けんぼんちやくしよくむそうこくしぞうず	恵林寺	S 52.4.5
絵画	室町	絹本著色快川国師像図	恵林寺	S 52.4.5
絵画	江戸	紙本墨画達磨像図	恵林寺	S 52.4.5
絵画	室町	絹本著色面壁達磨像図	恵林寺	S 52.4.5
絵画	江戸	絹本著色信玄像図	恵林寺	S 52.4.5
絵画	江戸	紙本著色信玄像図	恵林寺	S 52.4.5
絵画	江戸	紙本著色仏涅槃図	恵林寺	S 52.4.5

種別	年代	名称	所有者	指定年月日
絵画	室町	紙本著色末宗瑞曷像図	恵林寺	S 52.4.5
絵画	室町	絹本著色五大尊十二天像図	(財)信玄公宝 物保存会	S 52.4.5
絵画	室町	絹本著色弁財天女十五童子像図	個人	S 52.4.5
絵画	鎌倉	絹本著色十六善神像図	慈雲寺	S 52.4.5
絵画	室町	紙本著色渡唐天神像図	慈雲寺	S 52.4.5
絵画	室町	紙本著色阿弥陀如来両脇侍像図	松泉寺	S 52.4.5
絵画	江戸	絹本墨画達磨像図	慈眼院	S 52.4.5
絵画	江戸	紙本墨画禅宗祖師図三幅対	恵林寺	H 8.8.8
絵画	江戸	紙本墨画山水図	恵林寺	H 8.8.8
絵画	江戸	絹本著色羅漢図	恵林寺	H 8.8.8
絵画	江戸	墨画飛馬図絵馬	大善寺	S 53.3.31
絵画	江戸	絹本著色十六善神図	大善寺	S 53.3.3
絵画	江戸	絹本著色三十番神図	立正寺	S 53.3.3
絵画	江戸	武田二十四将画像	栖雲寺	S 57.12.10
絵画	江戸	摩利支天の画像	栖雲寺	H 5.7.14
絵画	江戸	釈迦の涅槃図	栖雲寺	H 5.7.14
彫刻	鎌倉	木造阿弥陀如来並びに両脇侍	栖雲寺	S 49.8.30
彫刻	江戸	木造上原子安地藏	上原寺	S 49.8.30
彫刻	江戸	木造赤尾子安地藏	涌泉寺	S 49.8.30
彫刻	江戸	木造百観音像	上条地区	S 49.8.30
彫刻	江戸	木造百体仏	福蔵院	S 49.8.30
彫刻	室町	木造鎧不動尊立像 附 厨子	恵林寺	S 49.8.30
彫刻	室町	金銅釈尊像	恵林寺	S 49.8.30
彫刻	鎌倉	木造薬師如来立像	涌泉寺	S 58.9.5
彫刻	鎌倉	木造不動明王立像	福蔵院	S 58.9.5
彫刻	江戸	木造柳沢吉保坐像 附 寿像安置納状一通	恵林寺	S 58.9.5
彫刻	鎌倉	木造毘沙門天立像	放光寺	H 7.5.30
彫刻	江戸	木造千手観音坐像	個人	H 7.5.30
彫刻	室町	木造隨身像	鶏冠神社	H 14.10.2
彫刻	室町	木造狛犬	鶏冠神社	H 14.10.2
彫刻	室町～ 江戸	延命院の十三仏石像	延命院	H 14.10.2
彫刻	江戸	天保年間の御札版木	栖雲寺	H 5.7.14
彫刻	江戸	勝頼公・同夫人・信勝公尊像	景德院	H 17.8.1
工芸品	鎌倉	鶏冠神社の鰐口	個人	S 46.4.1
工芸品	南北朝	向嶽寺中門扁額「鹽山」	向嶽寺	S 48.5.25
工芸品	南北朝	向嶽寺総門扁額「禅林法窟」	向嶽寺	S 48.5.25
工芸品	南北朝	禅板	向嶽寺	S 48.5.25
工芸品	室町	食籠	恵林寺	S 49.8.30
工芸品	室町	輪袈裟	恵林寺	S 49.8.30
工芸品	江戸	須磨明石山水蒔絵料紙箱	恵林寺	H 8.2.8
工芸品	江戸	柳沢家大名調度品一括	恵林寺	H 8.2.8
工芸品	江戸	太刀 銘 奉納柏尾山薬師如来 寛永十九 癸午年十月吉日 武州下原住康重	大善寺	S 51.3.31
工芸品	奈良	三光寺磬	三光寺	S 51.3.31
工芸品	室町	信玄公軍配	栖雲寺	S 57.10.5
工芸品	室町	武田軍旗	栖雲寺	S 57.10.5
工芸品		信玄公陣中鏡	栖雲寺	S 57.12.10
工芸品		水晶大数珠	栖雲寺	S 57.12.10
工芸品		兎の文鎮	栖雲寺	S 57.12.10
工芸品	南北朝	水差し	栖雲寺	S 58.2.14
工芸品	南北朝	妙智鏡	栖雲寺	S 58.2.14
工芸品	南北朝	龍鬚松子	栖雲寺	S 58.2.14

種別	年代	名称	所有者	指定年月日
工芸品		天目茶碗	栖雲寺	S 58.2.14
工芸品		七宝の香炉	栖雲寺	H 5.7.14
工芸品		茶壺	栖雲寺	H 17.8.1
工芸品		懸仏	三嶋神社	H 17.8.1
書跡	桃～江	恵林寺文書	恵林寺	S 49.8.30
書跡	桃～江	雲峰寺文書	雲峰寺	S 50.5.19
書跡	江戸	保坂家文書	個人	S 56.11.5
書跡	室町	熊野神社文書	熊野神社	S 59.2.15
書跡	江戸	故紙録	恵林寺	S 62.12.12
書跡	江戸	勅賜護法常応録抄 附 寄進添状一通、寄進家老連署状一通	恵林寺	S 62.12.12
書跡	南北朝	拔隊得勝墨書	(財)信玄公宝 物保存会	H 7.5.30
書跡	江戸	諏訪神社本殿棟札	諏訪神社	H 6.3.31
書跡		業海筆版木	栖雲寺	H 5.7.14
書跡		業海の遺偈	栖雲寺	H 5.7.14
考古資料	中世	放光寺遺跡出土品一括	放光寺	H 7.5.30
考古資料	中世	千野鳥居原出土古銭	個人	H 7.5.30
歴史資料	室町	恵林寺の大鋸	恵林寺	S 52.4.5
歴史資料	江戸	法隆寺金堂西壁阿弥陀三尊図写	放光寺	H 5.3.23
歴史資料	江戸	恵林寺奉加帳	恵林寺	H 12.10.18
歴史資料	中世	小屋敷宮下地蔵板碑	個人	H 14.10.2
歴史資料	中世	千野鳥居原地蔵板碑	個人	H 14.10.2
有形民俗	江戸	雲峰寺の絵馬	雲峰寺	H 7.12.22
有形民俗	江戸～ 現代	西藤木の水車	西藤木水車保 存会	H 7.12.22
有形民俗	江戸	小丸山の百番観音	甲州市	S 54.1.22
有形民俗	江戸	綿塚の花火筒	飯縄神社	S 61.4.1
有形民俗	江戸	綿塚上の水車小屋	個人	H 6.3.8
無形民俗		藤木道祖神祭太鼓のり	藤木道祖神祭 保存会	S 57.10.13
無形民俗		西広門田神楽七福神の舞	西広門田郷土 芸能保存会	S 57.10.13
無形民俗		熊野神社御幸行列	熊野神社打ち ばやし保存会	H 7.12.22
無形民俗		山村の打ちばやしと渡御行列	保存会	S 62.3.31
史跡	平安	原之京鍛冶遺構	個人	S 47.6.30
史跡	江戸	柳沢吉保夫妻の墓	恵林寺	S 62.12.12
史跡	江戸	萩原口留番所跡	個人	S 62.12.12
史跡	江戸	十組屋敷跡	個人	S 62.12.12
史跡		武田信満の墓	栖雲寺	S 48.10.2
史跡		有馬晴信謫居の跡	個人	S 56.2.1
史跡		四郎作跡	個人	S 56.2.1
史跡		鳥居畑古戦場跡	田野区	S 56.2.1
史跡		土屋惣蔵片手斬跡	山梨県	S 56.2.1
史跡		駒飼本陣跡	個人	S 56.2.1
史跡		鶴瀬関所跡	個人	S 56.2.1
史跡		棚古谷山不動尊	丸林区	H 9.12.25
名勝		大滝不動尊と滝	三光寺	S 51.3.31
天然記念物		八坂神社のエドヒガン	八坂神社	S 46.4.1
天然記念物		下於曽のモミ	佐藤 政一	S 46.4.1
天然記念物		下萩原のヒイラギ	雨宮 英雄	S 58.9.5
天然記念物		下萩原のムクロジ	柏原神社	S 59.10.11
天然記念物		鶏冠神社のサワラ	鶏冠神社	H 1.3.17

種別	年代	名称	所有者	指定年月日
天然記念物		竹森のザゼンソウ群	ザゼンソウ管理会	H 7.12.22
天然記念物		中牛奥のザクロ	個人	H 12.10.18
天然記念物		小屋敷のザクロ	個人	H 14.10.2
天然記念物		三光寺の大スギ	三光寺	S 52.3.31
天然記念物		菱山の鶴亀のマツ	個人	S 52.3.31
天然記念物		諏訪神社の大ケヤキ	諏訪神社	S 52.3.31
天然記念物		深沢の大ツガ	大石神社	S 52.3.31
天然記念物		上岩崎のウメ	個人	S 52.3.31
天然記念物		赤坂のヒイラギ	石尊社	S 52.3.31
天然記念物		小林のヒイラギ	立正寺	S 52.3.31
天然記念物		菱山のブドウ(甲州種)	個人	S 53.3.31
天然記念物		勝沼富町のブドウ(甲州種)	個人	S 53.3.31
天然記念物		景德院のサクラ	景德院	S 53.4.27
天然記念物		沢屋敷のウメ	個人	H 9.12.25
天然記念物		木賊のゴヨウマツ	個人	H 9.12.25
天然記念物		栖雲寺のシラカシ	栖雲寺	H 9.12.25

【国登録有形文化財（建造物）】

種別	名称	所有者	登録年月日
工作物	葡萄酒貯蔵庫(龍憲セラー)	個人・甲州市	H 8.12.26
工作物	勝沼堰堤	山梨県	H 9.5.29
工作物	祝橋	甲州市	H 9.5.29
建造物	旧田中銀行社屋	甲州市	H 9.5.29
建造物	旧田中銀行土蔵	甲州市	H 9.5.29
建造物	中央区区民会館(旧千野学校校舎)	甲州市	H 9.6.24
建造物	笛吹川芸術文庫(旧武藤酒造主屋)	笛吹川芸術文庫	H 16.8.17
建造物	笛吹川芸術文庫(旧武藤酒造米蔵)	笛吹川芸術文庫	H 16.8.17
建造物	風間酒造主屋	個人	H 17.8.2
建造物	風間酒造酒造蔵	個人	H 17.8.2
建造物	風間酒造酒店	個人	H 17.8.2
建造物	風間酒造文庫蔵	個人	H 17.8.2
建造物	飯島家住宅旧土蔵	個人	H 23.10.28
建造物	飯島家住宅長屋門	個人	H 23.10.28

【国登録有形民俗文化財】

種別	名称	所有者	登録年月日
生産、生業に用いられるもの	勝沼のぶどう栽培用具及び葡萄酒醸造用	甲州市	H 18.3.20

資料：市教育委員会資料

11. 甲州市国土利用計画策定審議会 名簿

役職名	氏 名	区 分	所属・役職
会 長	佐々木 邦明	学識経験者	山梨大学 教授
副会長	武藤 慎一	学識経験者	山梨大学 准教授
委 員	三森 始	地域代表	甲州市区長会 副会長
〃	有賀 文雄	市民代表	南部地域（大和）代表
〃	岩波 學	団体代表	甲州市農業委員会 会長
〃	日原 佐徳	団体代表	まちづくり研究会 代表
〃	吾妻 治久	公募委員	一般公募

12. 庁内調整委員会 名簿

所属	担当	名前
管財課	財産管理担当	広瀬 正樹（H26） 土屋 稔（H27）
産業振興課	果樹農林担当	萩原 利也
〃	農地担当（農業委員会）	芦沢 尊彦（H26） 小澤 和仁（H27）
〃	商工担当	中村 賢一（H26） 古屋 秀紀（H27）
農林土木課	管理担当	日原 美希彦
〃	基盤整備担当	内田 正文
建設課	道路整備担当	上矢 敏彦
〃	道路・河川維持担当	古屋 威仁
都市整備課	計画指導・景観担当	勝村 公一
〃	公園・道路担当	村田 政仁
〃	下水道担当	杣野 栄

13. 計画策定の経緯

年月日	経過等
平成 26 年 2 月 21 日	第 1 回 甲州市国土利用計画策定審議会
平成 26 年 7 月 10 日	第 2 回 甲州市国土利用計画策定審議会
平成 26 年 8 月 12 日	第 1 回 甲州市国土利用計画庁内調整委員会
平成 26 年 9 月 16 日	第 2 回 甲州市国土利用計画庁内調整委員会
平成 26 年 11 月 14 日	第 3 回 甲州市国土利用計画庁内調整委員会
平成 26 年 11 月 25 日	第 3 回 甲州市国土利用計画策定審議会
平成 27 年 1 月 27 日	山梨県へ計画（素案）を提出（県との事前調整）
平成 27 年 3 月 11 日	山梨県へ意見書の対する回答書についての打合せ
平成 27 年 3 月 23 日	第 4 回 甲州市国土利用計画策定審議会
平成 27 年 7 月 21 日	山梨県から回答書に基づき計画策定を進めるべき旨の回答を受領
平成 27 年 8 月 17 日 ～ 31 日	パブリックコメントの実施
平成 27 年 9 月 28 日	第 5 回 甲州市国土利用計画策定審議会
平成 27 年 11 月 10 日	国土利用計画甲州市計画の答申